



ジュビロ磐田

ハザードマップの周知【ソナエル東海】



Story

東海6クラブによるシャレン活動(東海シャレン=ソナエル東海)が生まれた事で「地震」における「備え」に対し磐田市と一緒に向き合えるきっかけとなりました。「備える」に対し行政が市民に望む事のひとつが「ハザードマップの周知」でした。ホームページ内にハザードマップ自体は存在しているが、もっと知っていただくための手段として、身近にあるモノを活用し、現代に合わせた周知方法としてデジタル化を考えています。世の中ではスマホが普及し、近い将来子供たちにタブレット端末が普及すると言われています。まだまだ絵空事の段階ではありますが、電信柱などにQRコードを貼り付け、スマホやタブレット端末をかざす事でAR(拡張現実)による情報が起動し避難経路案内、浸水等、今いる場所の情報が得られるようにしたいと考えています。

活動詳細情報はこちら


<https://www.jleague.jp/sharen/news/545/>

活動場所

磐田市全体

カテゴリ(SDGs)／取り組みテーマ



協働者

企業、住民、学校、行政

協働者名

磐田市 【予定】愛知大学地域貢献部、地域企業、
中部電力、磐田市内小学校

